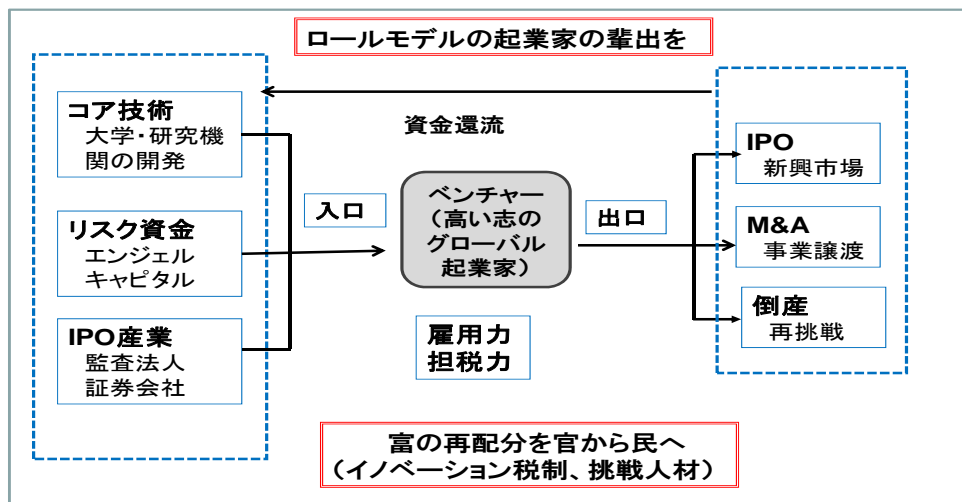


日本ベンチャー学会制度委員会 2011年提言報告書(概要)

10年後に、日本が明るく食べて行くための
『コア技術をベースにした成長ベンチャーの輩出提言』



<日本の課題と誇りある日本実現>

- 日本の本質的課題
～変わるための日本の障壁
- ① 危機的な財政と超高齢化でのハイコスト社会
 - ② 労働・消費人口減による生産と市場の縮小
 - ③ 吸収できない雇用と担税力の縮小
 - ④ 若者の精神面の内向化とリスク回避の傾向

<市場からのリスクマネー確保への提言>

- 日本のリスクマネー確保の新興市場の課題
～魅力なき日本市場と待ってこない世界
- ① マザーズ等日本証券市場後の IPO 数の急減
 - ② 低迷株価による成長加速資金の提供不足
 - ③ アジア新興市場の IPO 数の急増と日本勧誘
 - ④ リスクマネー回収手法の未成熟性



- 誇りある日本実現コンセプト
～超高齢化社会の理想モデルを世界に提示
- ① 努力・挑戦者・成功者を評価する社会風土
 - ② 国家ビジョンとその実行プロセスの明示
 - ③ 新たな雇用と担税力を生み出す新産業創出
 - ④ 世界に飛躍するグローバル人材の育成
 - ⑤ 国際的に競争力ある法人税制の改革
 - ⑥ 個人資産を活用できるイノベーション税制

- 日本の新興市場の役割と責任に関する提言
～JASDAQ 統合と Mothers 改革への期待
- ① ベンチャー企業の適正価値形成の支援
 - ② ネット時代に対応した証券市場統廃合
 - ③ IPO 審査「ベンチャー将来性」判断の適切運営
 - ④ 証券取引税制や売買手数料の見直し
 - ⑤ 敗者復活戦が可能な社会づくり支援
 - ⑥ 証券取引所・証券会社・監査法人の役割と責任

調査: 監査法人のベンチャーのショートレビュー指摘事項から支援後改善状況

| 経営統制 | 分類と調査結果 (SR 時点→支援後 IPO 時又は現時点) | | | | | 回答計 |
|------------|--------------------------------|-----------------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 経営チームの適切性 | 理想的である 0→9 | 形だけは整備 8→16 | 改善の余地大 21→4 | 偏りひどい 2→0 | 無いに等しい 3→0 | 34→29 社 100% |
| 取締役会の運営 | 活発議論・決定 12→23 | 社長中心発言 5→5 | 毎月形式開催 6→3 | 3ヶ月一回開催 6→0 | 随時開催他 5→0 | 34→31 社 100% |
| 社長出席の他の会議体 | 規模から理想 10→17 | 複数会議有り 13→1 | 形だけは整備 2→12 | 会議体準備中 5→0 | 他会議体無し 4→1 | 34→31 社 100% |
| 経営計画策定方法 | 全社で検討 7→18 | 企画中心に 13→13 | 外部に依頼 0→1 | 作成準備中 7→0 | 社長の頭他 7→0 | 34→31 社 100% |
| 月次決算完成時期 | 1週間以内 1→5 | 2週間以内 11→17 | 3週間以内 3→7 | 1ヶ月以内 13→2 | 翌月以降 6→0 | 34→31 社 100% |
| コンプライアンス | 理想的運用 1→7 | 社内浸透努力 16→19 | 委員会形式的 2→4 | 委員会準備中 6→1 | 遵守意識乏し 9→0 | 34→31 社 100% |
| リスクマネジメント | 理想的運用 1→7 | 社内浸透努力 16→19 | 委員会形式的 2→3 | 委員会準備中 7→2 | 遵守意識乏し 8→0 | 34→31 社 100% |

<ベンチャーキャピタル(VC)への提言>

日本のベンチャー投資の現状と課題

～停滞経済を打破するベンチャー投資の縮小

- ① 先進国最低の日本の GDP に占める VC 投資
- ② 急成長・高収益を望まない間接金融中心構造
- ③ VC 投資の低収益による年金基金からの過少投資
- ④ 金融機関資金減少でベンチャーファンド設立縮小
- ⑤ 少ないアーリー投資、偏るエクспанション投資



リスクに挑戦する VC の役割と責任への提言

～VC 投資(VF)を梃に経済のイノベーションを

- ① ベンチャーの企業価値形成を通じた成長支援
- ② VF へ長期資金の出し手としての年金資金導入
- ③ VF パフォーマンスデータベースの整備
- ④ VF の投資回収の多様性(IPO や M&A)
- ⑤ ハンズオン・リードインベスターの重視

<ベンチャー支援監査法人への提言>

日本の監査法人の動向とベンチャー支援課題

～IPO 数の減少による支援体制の後退

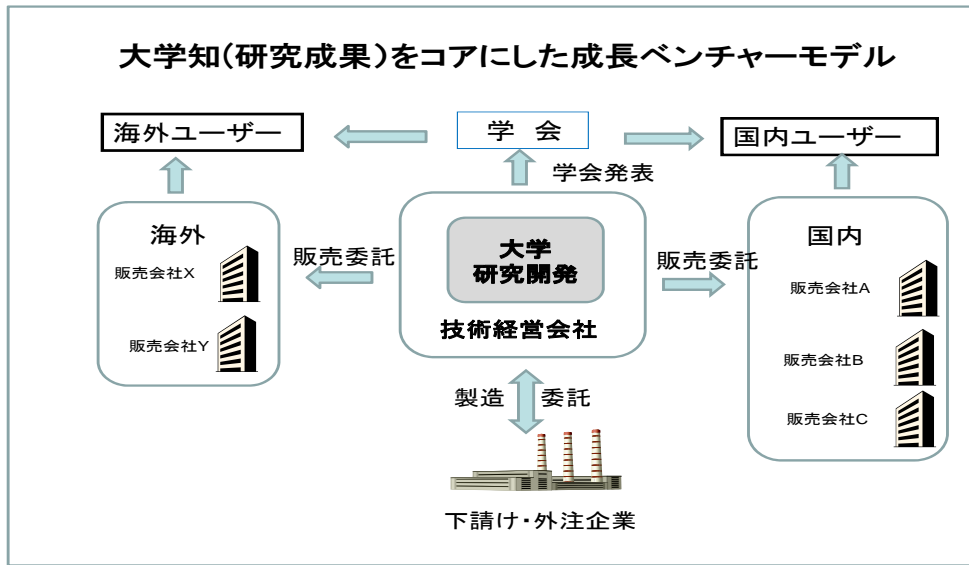
- ① IPO 数減少による IPO 関与監査法人の減少
- ② J-SOX 適用による IPO コストの上昇
- ③ 国際会計基準 IFRS 適用による IPO 人材縮小
- ④ 監査リスクの高いベンチャー監査回避傾向
- ⑤ 売上の架空・過大計上等の粉飾の発覚



監査法人の助言機能の役割と責任への提言

～IPO ベンチャー支援の役割と責任の再構築

- ① ベンチャーへの助言・支援機能の重要性認識
- ② 監査によるガバナンスと成長支援のバランス
- ③ 情報の信頼性監査の品質向上のための人材育成
- ④ ベンチャー起業家に対する情報提供機能
- ⑤ アジア新興市場を活かす国際ネットワーク活用



<研究成果事業化への提言>

<グローバル起業人材への提言>

- 研究成果(大学知を含む)の事業化の課題**
 ~大学等研究機関の技術移転・大学発ベンチャー
- ① 研究成果を社会に具体的に活かす意識の欠如
 - ② 社会に活かす大学知発掘の目利き力の弱さ
 - ③ 総合大学の経営資源を使ってない縦割り教育
 - ④ 産学間の技術移転スキームの弱さ
 - ⑤ 産学横断的技術移転・事業化の総合スキーム欠如

- 挑戦する起業人材とその輩出に関する課題**
 ~グローバル起業人材を育成する大学の対応
- ① 起業教育は定着しているが、グローバル発想欠如
 - ② 海外混成チームを対象とした授業が少ない
 - ③ 挑戦する人材の倫理やガバナンス教育の不足
 - ④ 起業家教育とその支援者教育の2面性の理解欠如
 - ⑤ 日本の大学教育のグローバル化対応の遅れ



- 研究成果の事業化・市場化促進のための提言**
 ~研究成果を次世代の豊かな社会づくりに
- ① 大学等研究機関の成果をイノベーション基点に
 - ② 研究開発→事業化市場化→成果→還流モデル確立
 - ③ 成果還流モデルを推進するプロ集団組織の形成
 - ④ 大学基点の長期的な産学官・地域連携モデル確立
 - ⑤ 先進的研究開発の基盤強化と学内外国際連携

- グローバル起業人材輩出への役割と提言**
 ~大学が国際競争力をつけるための起業人材育成
- ① 世界で活躍する新事業挑戦型リーダーの人材教育
 - ② 大学立地を活かした産学官・地域一体型人材育成
 - ③ 国内大学間・海外大学間と連携した人材教育
 - ④ 技術移転・インキュベーション・VC・事業化支援と連動した起業教育

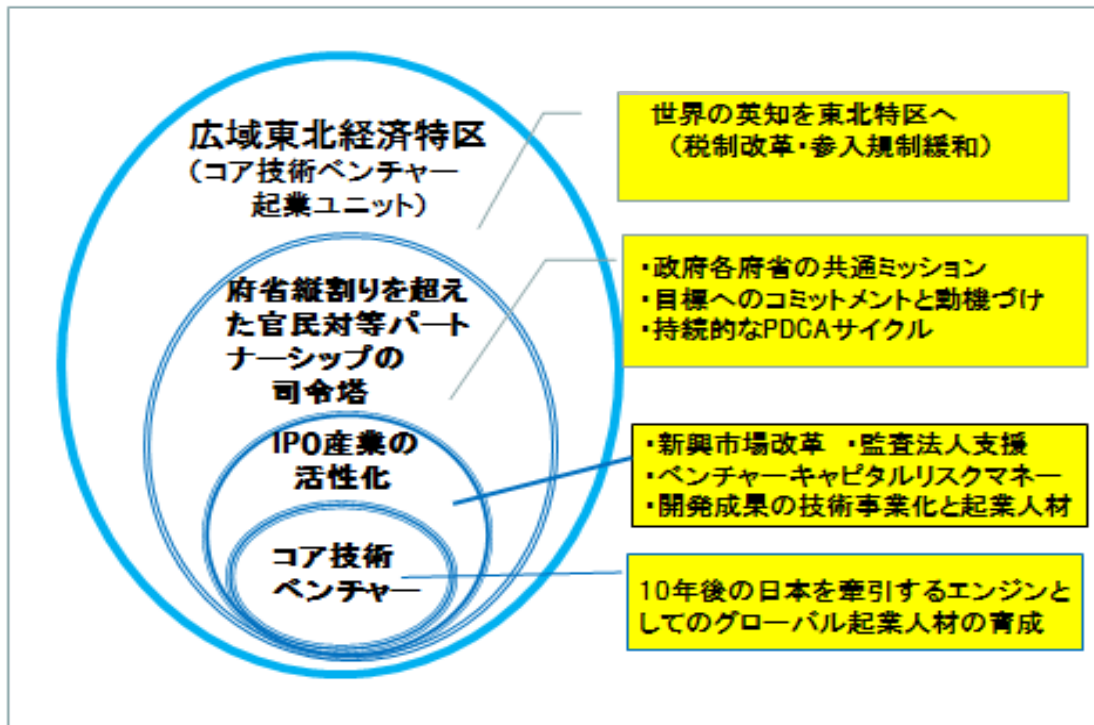
10年後の日本を支えるコア技術を持った成長ベンチャー輩出で

東日本大震災後の日本の復活を実現するために



誇りある日本づくりを、確認しよう、そして若者を信じよう！

- 日本の科学技術力・個人の金融資産・楽観的対応力
- 政治・経済リーダーの共通ミッションと発信力
- 挑戦し、努力し、成功した者を正當に評価する社会づくり



<政策の実現不足を繰り返さないために>

- 総合的アクションプランなき政策提言
- 一点突破型キラー政策は失敗する
- 府省庁など非営利組織の動機づけ不足

制度委員会委員：東誠一郎、潮来克士、一柳良雄、伊藤俊明、奥原主一、吳雅俊
佐藤辰彦、高橋廣司、隣良郎、川本明、秦信行、松田修一(委員長)

